麻布大学 入学者の皆さんへ

大学での「学び方」ガイド

CONTENTS

1．日頃の授業を受ける際の注意点 …… 1
（ノートの取り方など授業中の勉強の仕方、予習・復習の仕方、教員への質問の仕方など）
2．レポート作成の仕方、コツ …… 2
3．定期試験前の準備の仕方 …… 3
4．長期休暇中の学習面における過ごし方 …… 4
5．その他アドバイス …… 5
6．リメディアル教育の活用方法 …… 6

教育推進センター

1　日頃の授業を受ける際の注意点

大学の授業って、高校までの授業とどう違うの？
具体的に、何をどうすればいいの？

獣医学科

私は予習は出来ていませんが、授業時間は「先生の話したこと１つ１つ聞き漏らさない」と意識して集中して聞いています。授業中に寝ていたり集中して聞いていなくて後から先生の作った資料や教科書を読んで自分で勉強するよりも、先生は授業中にポイントとなる部分を話していたり、分かりにくい所を説明してくださったりするので、効率的だと思います。そして復習は「後から使えるまとめ」を作っています。具体的に言うと、復習として問題形式に授業内容をまとめてそれを日々の復習として少しずつ作っておいて、テスト前にはそれを自分で何度も解くといった感じです。

私が最も心がけていることは授業中に先生が言っていたことをノートに書き留めておくという事です。特に、図やグラフの見方などは詳細に説明を書き加えていました。こうすることで後から見ても理解出来るようにしました。また、スライドなどに書き加えていく事で自分の記憶にも残りやすく、自然と先生の話を積極的に聞こうという姿勢になるため授業の面白さが分かって来ると思います。

動物応用科学科

動物応用科学科

よほどの体調不良でない限り、授業には毎回必ず出席しました。配布資料に書かれていないことでも先生が口頭で説明した事などをメモすることで、プリントを見返した時に授業の記憶が蘇りやすくなります。また、日頃の授業中や試験前に、重要なポイントやテストに出すところを言われたら、必ず印をつけて試験勉強する際には、その印をつけたところから重点的に勉強をします。「大事なところ」専用のマーカーや、色ペンを決めておくと復習する時に便利です。

ノートは普通に先生が黒板に書いたことを写せば問題ないと思います。しかしたまに写すのが間に合わなくて字が走り書きになったり、書き足しすぎてノートがぐちゃぐちゃになることがあります。その様なときは授業とは別できれいに書き直す用のノートを用意した方がいいと思います。ほとんどの先生は黒板ではなくスライドで授業をすると思います。その場合はどこが大切なポイントなのかをメモしておくことが大切です。

臨床検査技術学科

食品生命科学科

授業の受け方は先生が言った言葉をノートの端にメモする。特にテスト前の最後の授業は先生の話を特に聞きのがさないようにする。授業を聞きながらテスト用のノートを作る。分からないところがあったら必ず先生に聞きに行く。

ノートは基本ルーズリーフを使い授業ごとにノートを区切り、タイトルに「何の授業の何回目か」を記入、サブタイトルを授業で行った内容（レジュメのタイトルでも可）を書いてから必ずノートを取り始めました。ノートには書き直せるものは一切使わず、ボールペンかマーカーを使っていました。ボールペンで書き間違えても間違えたところがわかるようにしたり、できるだけ多くの色のボールペンで大事なところを色分けし、必要ならマーカーで線を引くと後から見て何が大事だったのかよくわかると思います。

食品生命科学科

環境科学科

授業中は別に単位が取れればいいから寝てもいい、スマフォを使ってもいいという考えは改めたほうが良い。スマフォのゲームは絶対にやるな。授業中以外でもやるな。また、他の科目の課題をやる等の内職もやめよう。しっかりと話を聞く意識を持つこと。ただ、どうしても眠い時には 10 分くらい寝て、目を覚ますと良い。全部常識的なことだがやっていない人は多い。先生が大事だと言うところは印をつけておき、最低限理解しておこう。理解できなかったところは後で調べるか、先生に聞くこと。後ろの席よりは前の席に座ることをお勧めする。その方が授業に集中しやすい。（実は自分は一年の頃は授業中にゲームをすることがあったが今では授業に関係のないことは何もしていない。自分で意識を変えることはできるはず。）

2 レポート作成の仕方、コツ

**レポート課題を出されたんだけど、どうやって作るの？
何を書けばいいの？書き方が決まってるの？**

獣医学科

インターネットで調べたことをインターネット上に書かれているそのままの文章でただ書き写すだけでなく、自分の言葉で分かりやすく書いたり、また逆に要約するといいと思います。また、イラストを加えたり、キーワードは赤文字で書いたりすると自分の記憶に残りやすく、テスト勉強の助けにもなるかと思います。先生に読んでいただくという気持ちを忘れずに丁寧な字で書くことも必要かと思います。

まず、実験のレポートである場合にはその実験の目的や結果が示す意味をしっかりと理解しておくことが大切だと思います。これが理解できていないとレポートで考察を書くときに得られた結果から何が言えるのか分からなくなってしまい、書けたとしても内容の薄いものになってしまうと思います。また、参考文献も一つではなく複数利用する事で間違った内容を書いてしまう事も無いですし、授業では分からなかった新しい発見があると思います。

動物応用科学科

動物応用科学科

レポートを課された実習に必ず参加し、資料の訂正箇所や実験結果、気づいたこと等は欠かさずにメモを取り、レポート作成時にスムーズに取り掛かれるように気をつけていました。
また、1週間にいくつもレポートが課されるような忙しい学期には、レポートを課されたその日から作成を始め、早め早めの行動を心がけていました。「後でまとめてやる」のではなく、「隙間時間を利用して少しずつ取り組む」ことがオススメです。

結果は誤魔化さずに書きましょう。大切なのはその結果に対する考察です。もし予想とは異なる結果となった場合は、何が原因なのか、再発しないために気を付ける点などを頑張って捻り出しましょう。

臨床検査技術学科

食品生命科学科

提出期限より早めに作成しゆとりを持って取り組む。

先生によりこういう風に書いてくださいという指定が大体ありますが、基本形は目的、方法（使った試薬、使った器具、実験手順）結果、考察、参考文献といった感じです。前日までに実習書があればそれを参考に実験手順まで書き、結果は図や写真、エクセルで表にまとめ、このデータはどのようにして出したかを文章でまとめる。
考察は関連する現象や実験の対象であった物質について図書館で文献をあさってはその都度印刷したり本を借りていました。

食品生命科学科

環境科学科

実習、特に化学実習のレポートでは、操作方法はフローチャートで簡潔に書き、結果はありのままを書く。どのレポートでも、考察において参考文献等を探すときにはネットは便利だが利用するときには信頼できるサイトかどうか確認し、そのページのどの部分を引用したか、レポート上でどこが引用部分かを示すこと。また、項目が変わるごとに一行あけて見やすくすること。
もちろん、参考にしたサイトの URL、タイトル名、アクセス日時等も示すこと。Wikipedia をそのまま引用するのは NG。 ネットで調べてもわからないときは図書館を活用しよう。 レポートは書けるときに書いておいて、提出日の 1 日、2 日前には最終確認をすること。 提出日直前に取り組み始めるのは正直辛い。 早めに終わらせておけば精神的にも楽だ！

3 定期試験前の準備の仕方

定期試験があるらしいけど、どんな準備をすればいいの？

獣医学科

何の科目があって、あとテストまで何日で、何をやらなければならないか、をリストアップし、勉強計画を立てます。私はテスト約一ヶ月前から計画を作ります。計画はテスト一週間前には一通り勉強が終えられるように立て、ラスト一週間は最後のツメに使います。早めのうちから過去問をぱっと見て問題形式等を把握した上で勉強すると、どこがテストに出そうか予想を立てながら勉強できます。日ごろ復習として少しずつ作っておいた問題形式まとめを解きます。

とにかく大切なのは計画的に勉強する事です。特に１～２年生にかけては内容が幅広く教科数も多いため、いつまでにこれを終わらせると言った計画をしっかりと立てておかないと手を付けられない教科が出てきてしまうと思います。また、私は試験直前には出来るだけ時間を作りたかったので出された課題は後回しにせず、すぐに終わらせるようにしました。他にも、授業でどうしても分からない部分があれば先生の研究室に行ってお話を伺う事もしばしばありました。

動物応用科学科

動物応用科学科

試験の１ヶ月前程から過去問を探したり、先輩にアドバイスを頂いたりしました。授業最終日に試験の範囲や内容についてお話しする先生が多いので、科目数が多い場合は余裕を持って準備をした方が良いです。また、試験の傾向が急に変わることがあるので、過去問や先輩が作成したまとめは過信せずに、参考程度に利用をしましょう。
　どの科目に関しても、自分の手でまとめを作って知識を整理することで、記憶をしやすくなると思います。

自分に合った勉強方を見つけて取りかかれるといいと思います。ギリギリまで授業があるため難しいと思いますが、前もって試験の勉強に取りかかれるようにはしましょう。

臨床検査技術学科

食品生命科学科

ぎりぎりに勉強すると分からないことが出てきたとき先生に聞きにいけない可能性があるためテスト勉強は早めに行う。（３週間前ぐらいから）
テスト１週間前はバイトも遊びも一切いれず、勉強しかしない。
朝早く起きて勉強し、夜は早めに寝る。

僕は短期間に詰め込むことがとにかく無理な人間なので毎日この時間は勉強をするように計画し、授業で行った内容をまとめたり気になった点を自分で調べてみたり授業担当の先生やリメディアルの先生にどうしてもわからない点、不安な点を質問していました。なので準備などは特になく、試験一週間前もいつもと同じように過ごせる環境を作ることで遊ぶ時間を確保するのがいいでしょう。

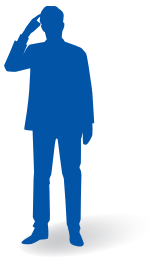
食品生命科学科

環境科学科

先生が大事だと言っていたところはもちろん、他の部分についても、なぜそれが起こるのか、そう呼ばれているのか等、しっかり理解すること。自分で要約できるときは要約する。 理解できていれば暗記できていなくても何とかなる。 特に記述式のテストの時には文章をただ暗記しようとした場合だと忘れた時に何も書けなくなる。 ノートに文章や単語をそのまま書き写すのは正直時間がかかるのであまりお勧めしない。要約は ok!
どのような問が出るかどうかも予想しておくとやりやすい。

4 長期休暇中の学習面における過ごし方

長期休暇は何を勉強したらいいの？



獣医学科

長期休暇は復習も予習も全くやっていません。リフレッシュ期間と考え、学校の勉強からは手を放しています。ただ、研究室活動（論文を読んだり実験をしたり）しています。研究室に入る前の学年の長期休暇は、個人的に TOICE のスコアアップと英検１級を目指しているので、そのための勉強をしたり、オンライン英会話を受講したりしていました。また、大学の海外短期研修に参加しました。

大学は前期と後期で分かれており、長期休暇を挟んで同じ教科を勉強するという事が少ないためついつい勉強を怠ってしまいがちですが、教科が異なったとしても同じ内容を繰り返し勉強する事が多いです。そのため、休暇中もノートを見返したりしておいた方が良いと思います。

動物応用科学科

動物応用科学科

夏季の長期休暇は、TOEIC や資格の勉強等をしました。TOEIC は就職活動において評価する企業が多いので、大学卒業後に大学院進学ではなく就職を考えている人は時間に余裕のある１年次のうちから取り組むと良いと思います。

冬季の長期休暇は、後期（９～12 月）の科目を軽く復習しました。

長期休暇中はそれまでの科目の総復習をするといいと思います。所属した研究室によっては長期休暇中は研究三昧になる場合があるかもしれませんが。

臨床検査技術学科

食品生命科学科

テスト期間は勉強しかしないため思いきり遊ぶ。

どうも休みがちになりやすいですが、僕の場合は英単語や慣用句表現など時間を取らないような勉強をしていました。ほかにも資格の勉強を進めたり、レポート課題を一日これだけやるなど、具体的な目標を立てるといいでしょう。

一番厄介なのは冬期休暇で、気が一番緩みやすい期間でもあります。この期間は目を通すだけでもいいのでやった内容を確認することにするかもしくは予定を立ててしっかり勉強をする習慣を身に着けると良いです。

そうは言いますが遊ぶことも重要ですのであまり真剣に考えないでください。

食品生命科学科

環境科学科

自分が授業中で興味を持ったこと、麻布大学で実施されている科目以外のことで学びたいことがあるときは、図書館等を利用して時間をゆっくりと学ぶとよい。 苦手な分野があるときは毎日 30 分でもいいから継続して続け、少しずつ克服していこう。（2）と被るが、特に化学が苦手な人は少しずつ勉強したほうが良い。 後期の授業のシラバスを見て何か学んだほうがいいことがあると思ったらそれも学んでおこう。 継続して続けることが大切だ。

遊ぶこともちろん重要だ。

5 その他アドバイス

色々アドバイスを聞いたけど、まだまだ不安・・・
ほかに何か準備すべきことはある？

獣医学科

低学年の授業が基礎になって高学年の授業につながるという意味が高学年になってわかります。毎日の授業を大切にするといいと思います。

大学は高校と違い、より専門的で高校では「生物」としてひとまとまりになっていた内容がさらに細分化され、１つ１つをより詳しく丁寧に学んでいきます。ですから教科数もかなり多くなり、始めはすごく大変に感じるかもしれません。ですがこれまで知らなかった事や興味のなかった事に触れ、物の見方や考え方が変わってくる事があるかもしれません。私はそうでした。新しい発見に感動し、興味がわき、考え方が変わってくる。麻布大学の動物応用科学科の良い所はそこだと思います。興味ある１つの事を真剣に学ぶのも大切ですが、視野を広げて色々な経験をしてみるのも大切だと思います。

動物応用科学科

動物応用科学科

私が、アルバイトやサークル活動、学外の活動をしつつも２回成績優秀者に選んで頂けたのは、「オン・オフの切り替えをしてメリハリのある生活を送ること」と「しっかり計画を立てて実行すること」の２点を行ってきたからだと思います。
　また息抜きをしっかりしたからこそ、勉強に集中することが出来ました。だから、上記のアドバイスを参考に勉強する以外にも自分にあった息抜き方法を見つけて欲しいと思います。

某先生の言葉を借りるなら「意外となんとかなります」。

臨床検査技術学科

食品生命科学科

分からないことがあったら友達に聞くのでも良いがなるべくテストを採点する先生に聞くと良いと思います。また先輩などからその先生の問題形式などの特徴を聞くなどして情報を集めることも大切です。
　テスト期間頑張れば、長期休みが思いっきり遊べるのでメリハリをつけて勉強するこが大切だと思います。

ノートの作り方は細かく（例）「▲～の機序について」と自分でタグをつけておくことや授業中の先生の言葉をメモしたり、わからないことはその都度質問するのもいいです。そしてノートの作り方は自分で形式を変えてみて自分がいいと思った形を探してみてください。

食品生命科学科

環境科学科

入学してすぐに図書館についての説明が行われる。 早めに図書館にどんな本があるか知っておくと良い。 想像以上に、様々な分野についての専門書があるため、興味をもった本を借りて休み時間や家に帰った後暇な時間があるとき、通学で電車を利用するが時間がかかってしまうときに読むと良い。 学生生活がさらに楽しくなるぞ。
　自分の場合は昆虫や蜘蛛等の節足動物についての本があるとは知らず、３年になってから気づいたため後悔している。

6 リメディアル教育等の活用方法

リメディアル教育って何？　どうやって使うの？

獣医学科

低学年の基礎科目で利用しました。私は高校で物理選択ではなかったので、リメディアルの先生に授業内容等を質問しました。丁寧に親切に教えてくださったので、聞きやすかったです。私は一人で利用しましたが、グループで予約して利用していた人もいたので、行きにくいなと感じる方は友達を誘って行くのもいいと思います。

私は数学をよく利用していましたが、個人的に分からない部分を徹底的に聞くことが出来るので苦手な教科がある場合はぜひ活用することをお勧めします。

動物応用科学科

食品生命科学科

リメディアルは一年生の時の基礎化学、物理や生物系の教科でしか使いませんでしたが、高校の内容をやり直す機会が必ずどこかで出てくると思います。その都度自分が必要だと思った時に早めに予約をすればいいと思います。

授業を受けた中で、例えば大学を生物で受験した人には化学に関することで内容についていけないことがあったときには、まずは先生や化学で受験した友達に聞く、受験勉強の時の参考書を貸してもらう等、学ぶ意識を持つことが大切。その後まだ理解できない部分があったらリメディアル教育を活用するといいだろう。 何を学べばいいかわからないときも活用しよう。高校までの化学の知識を理解しておくことが環境科学科では一番大切だ。

環境科学科

その他 チューター利用者の声

生物

- 個別指導なので、自分の分からないことが質問しやすかったです。また、自分のペースに合わせてもらえてよかったです。どこがポイントなのかを指摘していただき、まとめ方もよく理解することができました。
- DNA 複製など、ホワイトボードを使用して解説いただけたので、わかりやすかったです。

化学

- 自分のペースで、しかも難しい言葉を使わずに説明してくださり、分からないところも本当に丁寧に指導してくれて、とても助かります。特に有機化学の基礎をみっちり指導していただき、化学は本当に助かっています。
- 化学が関係している講義、全てに役に立っています。復習で分からなかったところをチューターに指導してもらい、正課授業で全く分からなかったところも分かるようになりました。

数学

- どんどんホワイトボードに板書してくれるので、メモをしっかり取りながら勉強することができました。また、公式の確認も問いかけながら指導していただけたので、置いていかれることなく学ぶことができました。
- 正課授業が全く分からなかったので、特にテスト勉強には役立ちました。